

令和5年上半期のサイバー犯罪情勢

サイバー空間の脅威の情勢：極めて深刻

『令和5年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等』
を警察庁ウェブサイトにおいて公表しました。



https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R05_kami_cyber_jousei.pdf

1 我が国に対するサイバー攻撃が複数発生！

DDoS攻撃によるとみられるウェブサイトの閲覧障害が複数発生
一部の事案に関しSNS上でハクティビスト（※）や親ロシア派ハッカー集団からの
犯行をほのめかす投稿を確認 ※ 社会的・政治的な主義主張を目的としたハッキング活動を行う者

2 ネットバンクの不正送金被害の発生件数が過去最多！

〔情勢〕

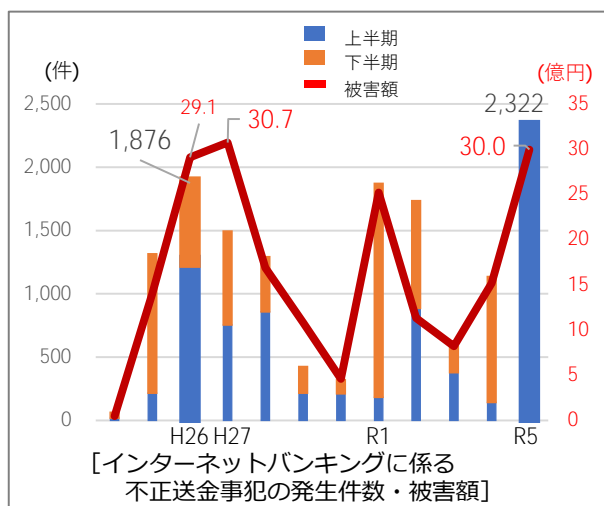
- インターネットバンキングに係る不正送金被害は、発生件数2,322件、被害総額約30億円
- 年間の数字と比較しても、発生件数は既に過去最多、被害額も過去最多に迫る勢い

〔対策（個人向け）〕

- メール等のリンクは安易にクリックしない
- 公式アプリ、公式サイトを利用する

〔対策（企業向け）〕

- DMARC等なりすましメール対策技術を導入する
- 利用状況通知サービスを導入する 等



3 ランサムウェアの感染被害が高水準で推移！

〔情勢〕

- ランサムウェア被害は103件で、高水準で推移
- ランサムウェアによる被害のほか、データを暗号化することなくデータを窃取し対価を要求する手口（「ノーウェアランサム」）による被害が、新たに6件確認

〔対策〕

- 機器等にパッチ等を適用する（ぜい弱性対策）
- バックアップデータをオフラインで保管する

